

令和7年度 学校教育自己診断結果（教職員） n = 21

質問	肯定%	■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない	R 6年度	比較
1 教職員は、学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	90.0%	全体 35% 55% 10%	91.3%	-1.3
2 教職員は、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	85.7%	全体 24% 62% 14%	87.0%	-1.2
3 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。	100.0%	全体 52% 48% 0%	95.7%	4.3
4 学校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	95.2%	全体 57% 38% 5%	90.9%	4.3
5 生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	95.2%	全体 52% 43% 5%	95.7%	-0.4
6 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	95.2%	全体 57% 38% 5%	100.0%	-4.8
7 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、学校として迅速に対応することができる。	100.0%	全体 57% 43% 0%	100.0%	0.0
8 学校は、生徒指導において、家庭との連携ができています。	100.0%	全体 67% 33% 0%	100.0%	0.0
9 学校は、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。	95.2%	全体 29% 67% 5%	87.0%	8.3
10 生徒一人ひとりが、興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	100.0%	全体 38% 62% 0%	95.7%	4.3
11 ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	85.7%	全体 43% 43% 10%	91.3%	-5.6
12 学校行事が、生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	100.0%	全体 67% 33% 0%	95.7%	4.3
13 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	95.2%	全体 48% 48% 0%	100.0%	-4.8
14 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。	95.2%	全体 57% 38% 5%	95.7%	-0.4
15 学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	90.5%	全体 48% 43% 10%	100.0%	-9.5
16 学校運営に教職員の意見が反映されている。	85.7%	全体 48% 38% 14%	100.0%	-14.3
17 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	90.5%	全体 38% 52% 10%	87.0%	3.5
18 各分掌や学年間での連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	90.5%	全体 19% 71% 10%	82.6%	7.9
19 職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	90.5%	全体 19% 71% 5%	95.7%	-5.2
20 教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	85.7%	全体 29% 57% 14%	91.3%	-5.6
21 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	90.5%	全体 48% 43% 10%	87.0%	3.5
22 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	95.2%	全体 48% 48% 5%	87.0%	8.3
23 教員の間で、授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。	81.0%	全体 29% 52% 19%	91.3%	-10.4
24 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。	100.0%	全体 38% 62% 0%	95.7%	4.3
25 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	90.5%	全体 38% 52% 10%	95.7%	-5.2
26 保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	95.2%	全体 38% 57% 5%	95.7%	-0.4
27 学校は、仕事のICT化を進める、時間外勤務を減らす等、働き方改革に取り組んでいる。	100.0%	全体 52% 48% 0%	100.0%	